

紙面から

- 市民税・都民税の平成18年度の主な変更点 ……2
- 京王線高幡不動駅の改札口が変わります ……3
- 高齢者福祉サービスのご案内 ……6・7
- 環境月間の催し ……8
- 日野市民ふれあい福祉まつり ……12
- 福祉機器展示会



6月は環境月間です

環境家計簿で温暖化対策を考えましょう

国連では6月5日を「環境の日」とし、日本でも環境基本法で定めています。この機会に私たちも環境について考えてみませんか。市と日野市環境市民会議では、環境月間にあわせ「エコキング」(日野市版一日環境家計簿)を実施します。これは、一日の暮らしの内容を気軽にチェックすることで、多くの方に地球温暖化対策について考えていただくものです。

「エコキング」とは

エコキングは日野市版一日環境家計簿の愛称。硬い家計簿ではなく、親しみやすいよう子どもにも人気のキャラクターを参考に名付けました。

日野市環境基本計画に基づく取り組みです

「日野市環境基本計画」重点対策と推進体制」では、平成22年度の二酸化炭素を平成2年度比6%削減することを努力目標としています。エコキングは、そのための第一歩

です。

基準日は6月18日(日)

6月18日の内容をチェックしてください。多くの方に参加していただくため、1日だけの取り組みとしました。

質問項目に「をつけるだけ」回答は「をつけるだけ」

5 用紙の配布は6月13日(火)から市役所用紙は6月13日から市役所

3階環境保全課、環境情報センター、各図書館で配布します。市ホームページからダウンロードできます。なお、各配布場所には回収箱を設置します。

市内の小学生が参加

エコキングには、各学校を通じて市内の小学生が参加します。

日野市での二酸化炭素の排出状況と予想

産業部門が第1位だが、家庭からの二酸化炭素排出比率が高い

この場合は平成22年の二酸化炭素排出量の予測は、82万2千300トン(グラフ3参照)。これは平成2年の62万6千200トンに比べて31・5%の増加です。

平成22年には民生家庭部門が排出量の第1位に?

平成22年には、産業部門を抜いて民生家庭部門が二酸化炭素排出量の第1位になると予想されます。これは、①今後人口が増加する(市の基本計画では平成22年の人口を18万5千人と予想)、②単身・夫婦のみを中心とした世帯数が増加する、③エネルギー使用量の多い高齢者世帯が増加するなどの要因によるものです。

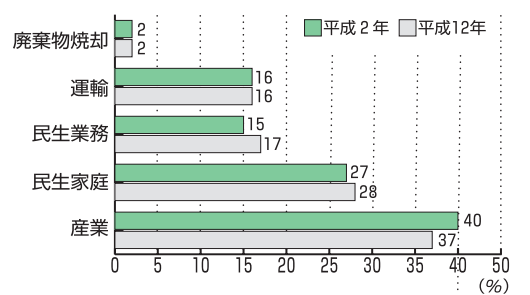
さらには、家庭での対策がさらに重要になります。家庭でできる地球温暖化対策「買替え・建替えの時は検討を」

買替え・建替えの時は検討を

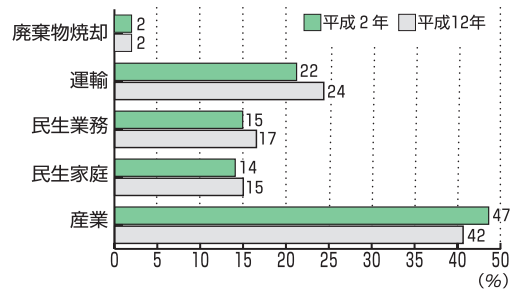
- ①電化製品・暖房器具などは省エネ性の高い機種を選ぶ
- ②住宅の省エネ性能の向上
- ③省エネ型の住宅を選択
- ④断熱リフォームを行う
- ⑤自然エネルギーの利用
- ⑥太陽熱給水器の導入
- ⑦太陽光発電システムの導入
- ⑧家庭での省エネ行動の拡大

エコキングに参加することも省エネ行動につながります。環境月間にあわせ、様々な催しが行われます。詳しくは8面を

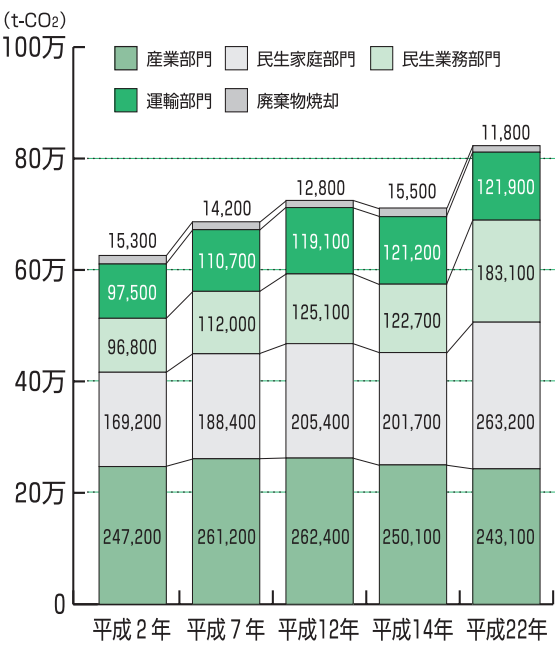
グラフ1 部門別CO₂排出率(日野市)



グラフ2 部門別CO₂排出率(全国)



グラフ3 平成22年のCO₂排出量予測(日野市)



赤十字奉仕団

日野市長 ひろみち 弘社

女性による奉仕グループとして長い歴史を持つ日野市赤十字奉仕団の活動です。

会議の冒頭に必ずあるのが、信条唱和。活動の本旨を確認しあつてから議事が始まります。人びとのために陰の力となつて奉仕する。常にくふうする。奉仕をひろげ、世界の平和にくす。短いですが時代を超えて心に響く信条です。

赤十字は、クリミア戦争のとき敵味方を区別せず看護したナイチンゲールと、彼女らに感動した実業家アンリ・デュナンに始まります。全世界に広がる人道支援組織であり、日本赤十字も優れた伝統を持っています。

日野市赤十字奉仕団には幅広い活動があります。防災訓練や福祉まつりへの協力、清掃奉仕や赤い羽根募金、福祉施設への支援バザーなど。

とりわけ重要な活動が献血奉仕です。科学の発達した今日でも血液は造れません。健康な人の献血は、重い病気やけがで危うい命を救うことが出来ます。多くの機関団体や企業が献血活動を実施していますが、その陰で細やかなお世話をしているのが赤十字奉仕団の皆さんです。

品格あるまちづくりには、見本となる団体だと思えます。そして奉仕団員のクリーム色のジャンパー姿には、とげとげしい世の風潮を癒してくれる効果もありそうです。目立たず、陰の力となつてすべての人に奉仕する赤十字奉仕団の活動を再認識しています。